

募集の概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて地域アドバイザーが出向くなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、1年間実践した結果を、中間報告会とワークショップ（最終報告会）で成果を発表していただきます。その場では、防災教育チャレンジプラン実行委員から、今後の取り組みに役立つアドバイスをいただくことができます。

最後のワークショップにおいては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を授与いたします。また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページで広く公開いたします。

【サポートの内容】

- プランの実践にかかる経費の提供／上限30万円（査定による）
※活動・予算計画書の提出を必要とします。
（従来からの取り組みに対する支援ではなく、新たなプランへの支援です）

- 中間報告会・ワークショップ（最終報告会）発表者1名分の交通・宿泊費を支給。

- プランの実現に向けて、地域アドバイザーがボランティアで支援を行います。
※地域アドバイザーが現地に訪問する経費は、事務局が支給。（回数制限有）
※継続的なアドバイスは、電子メール等でやり取り可能。

【表彰】

- 最終報告書とワークショップ（最終報告会）での発表を踏まえた審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状を授与いたします。

【サポート主体】

- 防災教育チャレンジプラン実行委員 および 地域アドバイザー
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
- その他、実行委員・地域アドバイザー等が紹介する諸団体

応募資格

- ・防災教育を一層充実させたいと考えている保育園・幼稚園・学校、教育委員会、地域団体（NPO、行政機関等）
- ・中間報告会、ワークショップ（最終報告会）に出席できること。（都内にて開催）

応募部門（プランの対象別）

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部 | E. 高等学校の部 | F. 大学・一般の部 |

応募方法

ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局までお送りください。
※E-mail もしくは FAX で受付。

〔主な記入内容〕

- 学校・団体等の概要（名称・代表者名・住所等連絡先）
- 現在までの防災教育に関する取り組み内容・成果・課題 ※無ければ、空欄可
- 応募動機 ●プランの概要（活動・予算計画書）

応募締め切り **2009年12月21日**

審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により、全国で最大10のチャレンジプランを決定します。

〔審査の観点〕

- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
- ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

〔2010年度チャレンジプランの決定・発表〕

- ・2010年2月13日、2009年度ワークショップ（最終報告会）の会場にて、2010年度のチャレンジプランを決定し、発表します。

応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

E-mail : cpinfo2865@bosai-study.net / FAX :03-3589-1703

Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランの流れ

プラン開発・実施／教材づくり／連携体制づくり

1

↓

2

↓

3

↓

↓

↓

↓

↓

↓

4

↓

↓

↓

↓

5

↓

↓

↓

↓

6

募集

応募締め切り **2009年12月21日**

教育委員会／NPO・団体／地域／学校

審査

2009年12月～2010年2月

決定発表

2010年2月13日（土）・14日（日）

2009年度 防災教育チャレンジプラン

ワークショップ開催

（会場：有明の丘基幹的広域防災拠点施設）

○**2010年度チャレンジプラン決定・発表**

- 2009年度チャレンジプラン成果発表・表彰
（防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞の決定）
- 学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等

実践

2010年4月～2011年3月

2010年度

防災教育チャレンジプランの実践

- チャレンジプランへのサポート
プラン進行や教材作成にあたってのアイディア提供
・資材提供等
- 講師インストラクター等の紹介・派遣等

中間報告

2010年11月（予定）

2010年度 防災教育チャレンジプラン

中間報告会開催（会場：都内にて開催）

○**2010年度チャレンジプラン中間報告**

- 交流会・意見交換会

成果報告

2011年2月（予定）

2010年度 防災教育チャレンジプラン

ワークショップ開催（会場：都内にて開催）

○**2010年度チャレンジプラン成果発表・表彰**

（防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定）

- 2011年度チャレンジプラン決定・発表

- 学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等

2009年度 防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧（五十音順、敬称略）

- | | |
|----------|--|
| 委員長：林 春男 | 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター |
| 委員：飯島 義雄 | 総務省消防庁国民保護・防災部 |
| 委員：越智 繁雄 | 内閣府参事官（地震・火山・大規模水害対策担当） |
| 委員：井上 浩一 | 防災ネットワークプラン |
| 委員：鍵屋 一 | 板橋区総務部 |
| 委員：国崎 信江 | 危機管理アドバイザー 危機管理教育研究所 |
| 委員：栗田 暢之 | NPO 法人レスキューストックヤード |
| 委員：五島 政一 | 国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 |
| 委員：沢野 次郎 | 災害救援ボランティア推進委員会 |
| 委員：篠田 貴司 | 東京都江東区立深川第五中学校 |
| 委員：諏訪 清二 | 兵庫県立舞子高等学校 環境防災科 |
| 委員：田村 拓 | 株式会社 CSK ホールディングス |
| 委員：中川 和之 | 時事通信 |
| 委員：平田 直 | 東京大学地震研究所 |
| 委員：福和 伸夫 | 名古屋大学大学院 環境学研究所 |
| 委員：船木 伸江 | 神戸学院大学 学際教育機構 防災社会貢献ユニット |
| 委員：松尾 知純 | BOUSAI-GATE Partners 防災危機管理教育事業コンサルタント |
| 委員：南島 正重 | 東京都立小石川高等学校 |
| 委員：南山 力生 | 文部科学省 研究開発局 |

（2009年7月15日現在）

2010年度 防災教育 チャレンジ プラン募集

Disaster Management Education Challenge Plan

防災教育チャレンジプランとは？

いつやってくるかわからない災害に備え大切な命を守り、できるだけ災害を減らし、万が一災害にあったときすぐに立ち直る力を一人一人が身につけるため、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。新たに取り組みたい。さらに高めたい、深めたい、広めたい。そんなプランを1年間、サポートします。
みなさんの新たなチャレンジが、防災力を高めます。

応募締め切りは、**2009年12月21日**

2010年2月13日（土）・14日（日） ワークショップ開催

会場：有明の丘 基幹的広域防災拠点施設（東京・江東区有明） 入場無料

現在「2009年度防災教育チャレンジプラン」に選出された9プランが進行中。1年間のチャレンジの成果発表と表彰を行います。会場への入場は事前登録制となっておりますので、ご来場の際にはホームページ（<http://www.bousai-study.net/>）にて事前登録をお願い致します。

主催：内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員会

後援：総務省消防庁・文部科学省・国土交通省・全国知事会・全国市長会・全国町村会・日本赤十字社・全国都道府県教育委員会連合会・日本PTA全国協議会

www.bosai-study.net



防災教育大賞

特定非営利活動法人ひまわりの夢企画 「防災楽習迷路の制作と出前」

- 対象：幼児・保育園児・幼稚園児、小学生（低学年）、小学生（高学年） ●災害種別：地震
- 内容：将来を担う子供たちに防災を楽しく習う教材として制作した防災教育教材『防災楽習迷路』を用い、出前授業を実施した取り組み。迷路を「地震で家が倒壊し迷路のようになってしまった」と仮定し、人命救助・防火活動・非常持ち出し品を探し出す教材。



防災教育優秀賞

名古屋大学災害対策室 歴史災害教訓伝達プロジェクト～1944東南海・1945三河地震 「土地の古老の三河地震被災体験談から学ぶ、地震・災害のしくみと防災のあり方」

- 対象：小学校（高学年） ●災害種別：災害全般
- 内容：「地域の歴史災害」をキーワードに、被災者体験談を聞き「子どもたちの防災マインド」を育て、土地の被災者へのインタビュー、防災に関する調べ学習、学芸会への防災劇上演、防災マップづくり、防災手帳づくりへと発展した取り組み。

社会福祉法人岐阜アソシア 視覚障害者生活情報センターぎふ 「防災運動会（一緒にできるよ 助け合おう！楽しもう！）」

- 対象：障がい者、地域住民、全ての人々 ●災害種別：災害全般
- 内容：障がい当事者が中心となり地域住民ほか様々な方が一緒になって、災害を想定した競技で、楽しみながら防災について学ぶ機会と場所の提供及び、啓発を実施した取り組み。

高知県立高知東高等学校

「学校から地域へ・学校へ ～防災文化を広げるプロジェクト～」

- 対象：幼児・保育園児・幼稚園児、高校生、地域住民 ●災害種別：地震
- 内容：過去の取り組み（2005年度チャレンジプラン）を継続発展させ、高校生自身が創意・工夫をしながら地元小学校、地域、他の高校などとのつながりを構築し、防災文化を広げる取り組み。

防災教育特別賞

なでしこ防災ネット

「女性の視点での防災対策 『日ごろの備えと家族・地域の絆』」

- 対象：地域住民、女性 ●災害種別：地震
- 内容：男女が共に支え合い助け合える地域、防災体制づくりにむけて「災害の被害を受けやすい女性」と「防災の担い手としての女性」双方の立場から日ごろの備えと工夫をリーフレット（女性の視点からの防災対策）にまとめ、関係者用に点訳・手話通訳・録音をした取り組み。

東北福祉大学ピンチヒッター

「非常食や身近な食材を使ったアレンジレシピ集の作成」

- 対象：全ての人々 ●災害種別：地震
- 内容：災害時における乳幼児や高齢者、食物アレルギーを持った方の食の部分に注目し、災害発生時の様々な条件のもとで作れるレシピを考案し、冊子やデータとしてまとめ、地域住民などに広めていく取り組み。

和歌山県立有田中央高等学校

「ハイスクール防災講座」

- 対象：小学生（高学年）、中学生、高校生 ●災害種別：地震
- 内容：高校3年生の総合学習として、防災の基礎知識の学習・実習・訓練等をする「ハイスクール防災講座」を2～3学期に開講し、9教科（社会、理科、保体、芸術、英語、家庭、情報、農業、福祉）に防災関連の授業を実施した取り組み。

防災教育大賞

静岡県立御殿場南高等学校 地学教室
「ESD教材としての防災教育プログラムの開発 ～自然災害に対する行動力を持った高校生の育成を目指して～」

防災教育優秀賞

- ① 社団法人兵庫県建築士会 住教育支援チーム
「牛乳パック再利用による耐震モデル授業の普及」
- ② 国立大学法人山口大学 地域防災ユニット
「水害常襲地における水防災教育プログラムの開発と実践 ～平成17年台風14号で被災した山口県美川町を事例に～」
- ③ 独立行政法人国立高等専門学校機構 秋田工業高等専門学校
「雪国秋田・積雪期の地震対策」

防災教育特別賞

- ① 大船渡市立綾里小学校
「暴れ狂った海」
- ② 特定非営利活動法人日本沼津災害救援ボランティア (NVN)
「NVN 防災ミュージカル『森のくまさん！発災直後編』」
- ③ 愛媛県松山市立生石小学校
「自分の身を守る『はぶ山』防災プラン」

防災教育大賞

神戸学院大学学際教育機構 防災・社会貢献ユニット
「先生の悩み解消！～大学生による各教科対応型防災教育キットの作成～」

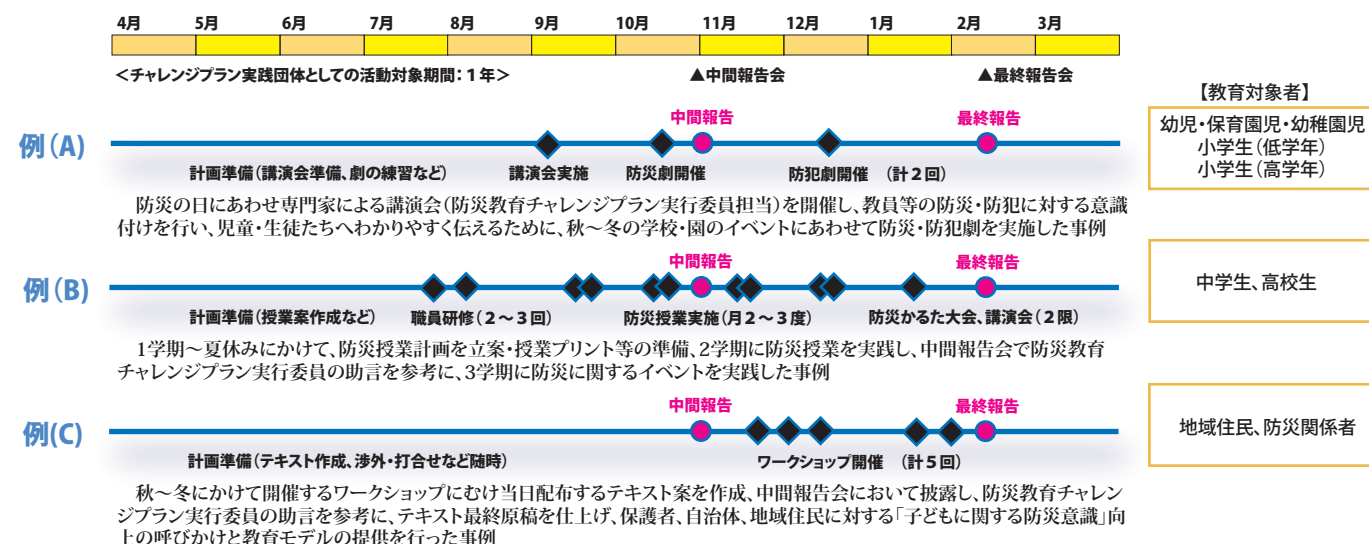
防災教育優秀賞

- ① 社会福祉法人 知恩福祉会 海童保育園
「消防署で防災について、体験学習してみよう！！～親子参加&地域との取り組み～」
- ② 御蔵通5・6・7丁目まちづくり協議会と阪神・淡路大震災まち支援グループまち・コミュニケーション
「震災の教訓を活かした現地防災学習」
- ③ 千葉県立市川工業高等学校 建築科耐震研究班
「目指せ地域の防災力UP！『木造住宅耐震診断ボランティア』」

防災教育特別賞

- ① Kirakira
「歌でおぼえよう『災害ダイヤル171』」
- ② 伊藤貴広
「建築士だからこそできる耐震課外授業」
- ③ 学校法人遺愛学院 遺愛女子高等学校
「文化財である校舎を災害から守るために、私たちに出来ること」

防災教育チャレンジプラン実践活動スケジュールの例



※報告会には、報告書(中間/最終)、発表資料(中間/最終)、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。